回 答 書

令和6年12月12日

各 位

佐賀県東部環境施設組合

工事名 佐東環第231号 次期リサイクル施設整備に係る敷地造成工事

番号	質 疑 事 項	回 答
①	L型擁壁(L=1.0m)の構造において、保護コンクリートの高さL型擁壁の基礎コンクリートの高さが同一であり、L擁壁背面側のカウンター(根入れ)がないため受動が考えられるが、根入れは必要ないと考えてよろしいでしょうか？	①お見込みのとおりです。 L型擁壁の滑動及び転倒に対する検討を行っており、根入れを必要としない旨を確認しております。
②	洪水調整池擁壁について、盛土部に設置する箇所は基礎杭(木杭)が必要ではないでしょうか？また、調整池擁壁は永久構造物ではないと考えてよろしいでしょうか？	②現場で実施したボーリング調査の結果、表土の下層は強風化花崗岩(良質土)で、構成されており、それらを盛土材として用いた場合の地耐力照査を行った結果、直接基礎で問題ないと解釈しております。 また当初設計で平板載荷試験の実施費用を計上しておりますので、盛土後に当該試験の結果、直接基礎では安全ではないという結果が導出され何らかの措置が必要となった場合は変更の対象とします。 洪水調整池については、施設稼働終了後も何らかの形で土地利用する際に必要となるため、洪水調整池及び調整池擁壁は永久構造物と考えております。
③	根株の処分について、個々の土落としを行ってから処分でしょうか？その場合、土落としの為の費用が計上されていないようですが、変更対象と考えてよろしいでしょうか？	③変更の対象とします。ただし、土落としの方法については受注者と協議の上、様々な方法を検討し経済的な方法による費用計上を行います。

④	盛土(良質土)の処分地がカーネクストとなっておりますが、処分地の受け入れが困難な場合は、協議の上、変更可と考えてよろしいでしょうか？	④変更の対象とします。なお追加の処分地が必要となった場合、発注者で各処分地の経済比較を行い最も経済的な処分地で追加計上を行います。
---	--	---